

1

広報を見て  
応募



2

研修日  
7月17日

自己紹介、取材先決定、  
記事の書き方講習、写真の  
撮り方講習、取材先の下調  
べなどを行います。

3

取材日  
7月28日

カメラを持ち、取材ノート  
を片手に質問をして、メモ  
を取ります。



取材や編集の様  
子がケーブルテ  
レビで放送され  
ました。

# 夏休み特別企画 えもんみつけ! こども市民 レポーター

毎回、市民レポーターが、さまざまな場所に出掛け、市民の目線で、  
お店や施設、イベントなどを紹介する「市民レポーターのページ・  
えもんみつけ」が、今年も「こども市民レポーター」特別企画を実施。  
今回、6回目を迎える特別企画には、市内の小学5、6年生10人が参加  
しました。2グループに分かれ、「小牧市中央図書館」と「市民四季の  
森」の取材をして、記事を書き、編集を体験しました。

学校が違ったり、学年が違ったりしても「広報を作ろう!」という目的  
を持ち、みんなで頑張ることができました。



4

編集日  
8月7日

家で考えてきた記事をみんなで検討、  
撮影してきた写真を選び、キャッチコ  
ピーなどを作ります。



## こども市民レポーターの皆さん

写真前列左から、森優月さん、長峯穂乃佳さん、高橋五輝くん、清水壮くん、  
落合愛菜さん、志水寿羽さん

後列左から、櫻井七瀬さん、浅野真奈さん、奈須愛由美さん、荒木柚希さん  
※写真撮影の際のみマスクをはずしています。

この紙面は拡大印刷され、市内の全小学校に掲示されます。

5

広報発行





取材先

小牧市中央図書館



住所：中央1-234  
 電話：73-9951  
 開館時間：午前9時～午後9時  
 ※1階エントランスエリア  
 (カフェ含む)は、午前8時～  
 休館日：毎月最終月曜日 ただし、祝日の  
 場合は、直前の月曜日



↑山田さんに「新しい本は月に何冊入るのですか」と聞くと、「500冊ぐらい入って、古い本と入れ替えて。その繰り返しです」とのこと。建設費用は、なんと35億円！

みんな、満喫！  
 まんきつ  
 ーその秘密に迫るー  
 皆さんは、新しくできた小牧市中央図書館に行っ  
 たことはありませんか。今回は行ったことがあ  
 りない人もびっくりするような図書館の魅力や  
 普段は行けない裏側を紹介していきます。



↑写真右(2枚)は、字が読みにくい人のために本を拡大したり、色を変えたりすることができる器械で、4階にあります。他にも、障がいのある人のためにもととの本を短い文章にした本や布の本などがあります(写真上)。



↓予約した本を受け取る所です。入口のパソコンで本の位置を知ることができます。予約していない本を持ち出ししたり、勝手に持ち出ししたりするとブザーが鳴ります。



↑図書館の中には、図書館の人が入れない書庫があります。たくさん本が保管されています。照明も自動でつきます。

↓すべての蔵書についているICタグには、本の情報がたくさん入っています。ICタグのおかげで、自動貸出機に置くだけで一気に本の情報を読み取ることができます。



↑読んだ本や借りる本を紫外線で消毒することができます。1階南入口のところにあります。バイバイ菌！



←地下にある倉庫に大事にしまっておく古文書。約100年前のものらしいです。ICタグは貼らず、紙に貼って本にはさんであります。



**取材の裏側**

**7月28日**  
**小牧市中央図書館**

午後1時から小牧市中央図書館での取材が始まりました。4階多目的室に集まり、山田さんから図書館の概要などを聞き、こども市民レポーターたちが質問を投げかけます。分かりづらい言葉を漢字でホワイトボードに書いてもらうなど山田さんの優しく、分かりやすい受け答えに、最初は緊張していたみんなもリラックスして、大爆笑もあり！一通りの説明を終え、館内を見て回ります



(写真上)。各フロアには自動貸出機が何台も置かれ、気軽に本を借りられるようになったことなどはじめ、最新の設備やシステムで今までとは比べものにならないほど便利になった館内に「へえ〜、



小牧市中央図書館  
主幹 山田久さん

**取材を終えて…**

皆、元気で、たくさんの質問をもらいました。図書館の事を良く分かってもらえたと思います。どんな紙面になるのか、とても楽しみにしています。



写真⑥ 図書消毒器です。説明を受けながら、実演もします。カメラ担当者は必死に撮影、頑張りました。



写真④ 本の返却口の裏側です。返却された本のICタグで情報を管理しています。傾斜がついていて、滑り落ちる本の撮影が上手く行かず何度も挑戦しました。

**「すごい」の連続です。**

記者として説明を聞くだけでなく、いろいろ触って見て、体験してみると、とても忙しいそうです。多分、みんなは図書館のエキスパートになったはずですよ。

普段は入れないエリアの見学では、保育園や小学校へ希望する本を届ける配本サービス、本のチェックなどたくさんの方が働いていることを知りました。書庫では、本の多さに驚き、古文書が置いてある場所では、一生懸命、撮影する姿が印象的でした。

編集日(写真下)には写真を選び、記事を書き、大見出しなど原稿を作り、皆で力を合せて、紙面を完成させました。



**子ども市民レポーターとして頑張りました！**



**長峯穂乃佳 (大城小6年)**  
サイレントルームや拡大図書など他にもいろいろな部屋や機械があって、図書館に来たみんなが、便利に過ごせて「すごい」と思いました。



**森優月 (米野小5年)**  
気になっていた裏側に入ることができ、聞きたいことも質問でき、嬉しかったです。一眼レフカメラで写真を撮ったり、記者になれてとても楽しかったです。



**志水寿羽 (陶小5年)**  
私は本が好きで、図書館も大好きです。今回の取材では、普段は入れない所に入れてもらったり、図書館のことを詳しく知ることができたりして、良かったです。



**落合愛菜 (陶小5年)**  
「図書館には、いろいろな人のためにいろいろな本がある」ことが分かりました。いろいろな人が利用するために工夫をしているので、皆さんも来てほしいです。



**浅野真奈 (小牧南小5年)**  
私は、図書館の取材をして、いつもは見る事ができない裏側を見られて良かったと思います。カメラが使いづらく大変でしたが、良い写真が撮れたと思います。





# 遊びの森の裏側とは!?

四季の森は、平成17年に完成しました。ソリスベリ、BBQ、動物村など広くて楽しい場所です。知らないところにもいろいろな工夫がされています。そんな四季の森を紹介します。



取材に行ってきました!

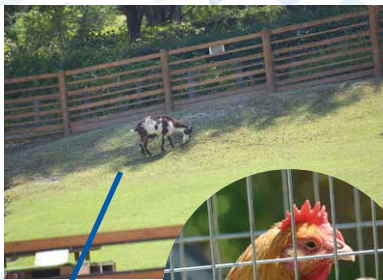
→滑った後のソリとヘルメットは、摩擦によって粉がついたり、汗で汚れたりするので、丁寧に掃除・除菌をします。



↑ソリスベリの丘です。長さが約60メートルもあります。右の写真は、ホウキの先ようですが、滑るところの一部分です。材質はプラスチックで重たいです。



4726枚も敷き詰められています!



ヤギです!

←ちびっこ動物村には、動物が40〜50匹(頭)いて、ポニーやヤギには野生の生態に合わせてエサの回数を多くしています。小牧発祥のナゴヤコーチンもオスとメスがいます。



→四季の森の総面積は、28・2ヘクタール。少しずつオープンして、平成17年に今の広さになりました。バンテリンドームナゴヤの約5倍の大きさを誇ります。



←予約時刻の前に火を起こしてくれるから、材料を持ってこるだけで大丈夫です。屋根もあるので、天気が悪くても楽しめます。

↓ロータリーモアという芝刈り機で、下に刃物がついています。高速回転して芝を刈ります。



↑管理棟にある倉庫には、たくさんの機械があり、週に1回、必ずメンテナンスをしています。園内の管理もこのメンテナンスがなければできません。

## 取材先

市民四季の森



住所：大草5786-1  
 電話：78-4554(代)  
 開園時間：午前9時～午後7時(6月～9月)  
 午前9時～午後5時(10月～翌年2月)  
 午前9時～午後6時(3月～5月)  
 休園日：毎月第4木曜日(祝日の場合は翌平日)  
 年末年始(12月29日～1月3日)  
 ※各施設により休業日が異なります。詳しくは、市のホームページで確認してください。



**取材の裏側**

**7月28日**  
**市民四季の森**

朝からとても暑い日でしたが、汗だくになりながら、みんなで取材に取り組みました。まず、最初にソリスベリの丘へ。子どもたちに人気の場所ですが、その裏側でスタッフの皆さんの管理、作業の大変さを聞いて、真剣な面持ちです。1メートルはあるかという長いモップを持ち、滑る場所の水取り作業を体験しました。



滑る部分に敷かれているプラスチック製の緑のパーツを持ち、大きさや重さも体感（写真上）。意外に重たくて驚きの声が上がりました。バーベキュー場では、大山区の人たちが火起こしや管理、清掃を担当していることを聞きました。



体験取材としてソリスベリをしました。



動物村の取材風景。木陰は少し涼しいけれど、メモをとる手は休みません。

**取材を終えて…**

**市民四季の森管理事務所**  
**所長 大野 成尚さん**



暑い中、四季の森の運営や維持管理の方法を熱心にメモや写真で記録している皆さんの記者姿は素敵でした。

ちびっこ動物村では、動物を専門で飼育、管理している人の話を聞きました。四季の森が休園日でも、ここだけはお休みがないことにびっくりした様子でした。新型コロナウイルス感染症などさまざまな衛生管理のために中に入れなかったことは残念でした。

最後は、管理棟にある倉庫です。広大な園内と草花や木々の管理について、何人で作業しているか、など聞きたいことがいっぱい。質問の答えを真剣な眼差しでメモをとる姿は、一人前の記者さんたちです。

炎天下にも関わらず、限られた時間内に広い園内に点在するいろいろな施設を回り、取材したり、重たいカメラを持って撮影したりすることは、とても大変でしたが、みんな、頑張ってくれました。編集日は、各自が持ち寄った原稿を精査し、話し合いながら、紙面作りをしました。



**子ども市民レポーターとして頑張りました！**



**高橋 五輝 (小木小6年)**  
普段、聞けないことを、聞いたリ、調べたりできて、よかったです。リードやキャッチコピーが少し難しかったです。これからも四季の森にいっぱい行きたいです。



**櫻井 七瀬 (陶小6年)**  
四季の森で働く人が思っていたよりも多くて驚きました。園内にはいろいろな工夫があつて面白かったです。これらの体験を将来に役立てられたいなと思います。



**奈須 愛由美 (篠岡小6年)**  
普段は入れない場所に入れたり、いつもはできない取材ができて、とても楽しかったです。四季の森についていろいろ知ることができてとても貴重な体験になりました。



**荒木 柚希 (米野小6年)**  
まず、四季の森の広さに驚きました。いろいろな場所で工夫がされていることを知ったので、これから行ってみたいになりました。編集も協力してがんばりました。



**清水 壮 (小牧小5年)**  
記者体験をして、カメラマンは重いカメラを持って撮影し、書く人は、聞きながら書かないといけないし、大変だなあと感じたし、すごいなあと思いました。